

## 合格者占有率59% 6年連続1位達成

### 総合資格

総合資格学院を運営する総合資格(本社・東京都新宿区、岸隆司社長)は9日、横浜・川崎・町田・厚木・藤沢・沼津の6校合同による2011年度1級・2級建築士・宅地建物取引主任者の合格祝賀会を開いた。神奈川県内の1級建築士合格者占有率は59.4%(414人中246人)で6年連続1位を達成した。祝賀会場には350人を超える合格者が集まり、講師やスタッフらと喜びを分かち合った。

冒頭、主催者を代表して石井啓司南関東本部長は、合格者を祝福するとともに年々合格者数を伸ばしている講師の労をねぎらい、「きょうは



喜びを分かち合い交流を深めてほしい。合格者は責任と自覚を持った有資格者として各フィールドで活躍していただきたい」とあいさつした。写真。

来賓の上原伸一神奈川県建築士事務所協会長は、災害対応など建築士の重要性を強調した上で、「豊かな社会の構築に向けて活躍してほしい」とし、講師代表の園田貞美氏は「資格取得するための努力、

家族や周りの人の協力、自信と希望など目に見えない部分を忘れずに」と合格者にエールを送った。

合格者を代表して修了証を受領した笛木裕一郎氏は、受講期間を「一生心に残る時間だった」と振り返り、「人命を預かる資格であり、社会的責任がある。社会から信頼される建築士にならなければいけないと感じている」と決意を表した。